第１期　第５回　教育関連学会連絡協議会運営委員会　議事要旨

日　時：2015年3月14日（土）12時～13時

場　所：学習院大学西5号館301教室

出席者：佐藤学（委員長）、金子元久（事務局長）、秋田喜代美、江原裕美、角屋重樹、新谷恭明、深澤広明、藤田英典、松浦良充、山﨑準二

欠席者：勝野正章、鈴木晶子

過半数（10名）の出席があったため委員会は成立する。

１．総会における運営委員会委員の選出について（佐藤運営委員長より）

　　現委員は2014年10月で任期が終わるはずであったが、委員の選出は総会で行われるため、2015年3月まで任期を延長することとした。今後は3年ごとの3月で交替となる。

学会代表が変わった場合に運営委員も交替するのか、との質問があり、代表が変わっても運営委員は変更しないことを確認した。

２．シンポジウムについて（佐藤運営委員長より）

　別紙チラシのとおり開催する。報告を各25分間、指定討論を各10分間予定する。牛渡淳氏に私学の立場から報告をお願いしていたが連絡がつかず、直前になり参加を承諾いただけたので、急遽指定討論に入っていただくこととなった。

３．総会について（佐藤運営委員長より）

　司会を金子委員にお願いし、承諾を得た。総会議事次第に沿って内容を確認した。

（１）脱退・加盟について

　　前回委員会で報告していた団体の脱退のみあり、新規加盟はないため、総会で承認されれば加盟団体数は69団体となる。

（２）会計報告

　　会費納入について、現在2014年度の未納が3団体ある。3年未納が続くと加盟資格を失うため、そのことをあわせて伝えて納入を促すことになる。

　　HP委託料に42万円かかっているが、初期費用35万円と1年分の維持費6万円あまりの合計である。来年からは維持費のみとなるため、他の支出が増えたとしても、30万円ほど余裕が出て、活動費に当てられることになる。

（３）運営委員会委員選挙

　日本学術会議より佐藤、金子の2名を選出したい。他10名は本日の投票で選出する。開票に時間がかかるため、議事の冒頭に投票を行なう。

（４）2015年度活動計画

　資料参照。前回委員会で設立趣旨を報告した学術会議の人文社会科学学会連合に加入する方向性を本日の総会で承認いただきたい。連合が正式に発足することになったら加入について改めて総会で諮るので、今回は方向性を決めるのみである。

　次回のシンポジウムについては、新委員の協議事項となる。

４．その他

・会計期間は2月始まり、1月末締めであるが、運営委員の任期は3月までである。ずれているのは仕方がないのか、という質問に対し、佐藤委員長が、会計報告を3月の総会で行なう必要上、会計を1月末締めとしていると説明。所属学会で会費についての報告をするため、会計期間を規約に明示すべきではという意見があった。会費の期間も会計期間と同じく2月から翌年1月までとなることを確認した。

・この運営委員会について、以前は学術会議の会員4名が何らかのかたちで携わっていたが、今は佐藤・金子委員の両名のみかかわり、他の会員とのつながりが少なくなっている。オブザーバーとして運営委員会に参加してもらう等、学術会議とのパイプ役となってもらうべきではないか。→佐藤委員長より、学術会議の期が変わったときにつながりが途切れてしまうのを懸念する。オブザーバー参加は難しいと思うが、集まって意見交換の場を設けるなどしてゆきたいと提案があった。

・運営委員会は、春・夏の２回だけでよいのか。シンポジウムが年１回ならそれで十分だが、活動を増やしてゆくのであれば委員長・事務局長にお任せすることになり、委員会として検討する機会が少ないのではないか。→２回は最小限であり、臨時のシンポジウム等企画されればそのつど運営委員会で対応してゆきたい。

・国の政策に対する意見を組織的に発言してゆけないか。→各学会の意見があるため、協議会としてひとつにまとめるのは難しい。協議会でできることは、各学会の連携をコーディネートすることではないか。連携の方法としては専門ごとの連携となるだろうが、手始めとして、ウェブサイトを活用して各学会の情報が見られるようにするとよいのではないか。

以上